



寒中お見舞い申し上げます。

新しい年が、みなさまにとって幸多い一年でありますように。

### 2021 ごあいさつ



コロナ禍の今年は、まだ先の見えない日が続くのかもしれません。ちいきのなかまは、コロナ禍で見た社会の矛盾から目を逸らさずに、コロナ後の社会を展望し、子どもたちの幸せを願い活動を続けたいと思います。



昨年来、感染の拡大とともに社会環境は大きく変化し続けています。私たちはこの社会の脆弱性に気づきました。ネット上、そして現実社会にある差別や排除、人の心の闇の存在に悲しみを感じつつあります。この感染症は、多くの命や大事なものを奪うだけでなく、社会に危機的な状況をもたらしています。

このようなことは誰にも初めてのことで皆不安です。個々人の不安は社会への不信をもたらし、社会が安全ではなくなってしまう。その中で、ちいきのなかまは「皆が元気でコロナ禍を生き抜くこと」、そして地道にコツコツ、誰かが発信するSOSに応え支援する毎日を重ねていきます。幸い私たちは仲間のみなさんに恵まれています。皆さんたちの元気に支えてもらいながら頑張りたいと思います。—



### 出産を控えたご家族向け「出張両親学級」を開始しました！

核家族化が進んで久しい現在、第一子目の出産前に子どもや子育てに「接したことがない・あまりない」方の割合が65%（ちいきのなかま調べ）にも達しています。さらにはコロナ禍で集まって学ぶ機会までも少なくなっており「わからないから不安」という方向け「出張両親学級」を11月に開始。



#### 内容

- ・ 出産後の子育て
- ・ 産後のママの身体の変化・赤ちゃんのお世話・子どもの発達・産後の夫婦について・頼れる先の情報提供
- ・ 実習：抱っこやおむつの替え方、お洋服の着せ方などの実習

12月19日 初めての訪問で、これまで赤ちゃんとの接点がほぼ無かったというご夫婦のお宅に訪問しました。

子育てを考え続けている近所の先輩ママとしてお伝えしました。ご夫婦からは「両親学級を受けたことが無く産後の生活に不安があったが、具体的な方法を教えてもらい理解ができた」と言っていました。出張両親学級の経費はご寄付を活用し、本人負担額1,000円/回で実施します。周りで初めての子育てが不安な方いらっしゃったらご紹介ください。ベビー人形を連れて訪問します。



# ファミサポ事業プロポーザル結果報告

2020年11月19日に実施されたファミサポ事業受託事業者選考会を経て、当法人は2021年度～2023年度までファミサポ事業を受託することになりました。日頃応援していただいている皆様の良い結果をご報告できこの上なく幸せです。

今後3年間「提案書」に基づいてファミサポ事業に取り組みます。全てはご紹介できませんが、提案書の中の理念的な箇所と審査の総評のポイントをお伝えします。

## 【提案書より「応募の動機」】

○ファミリーサポートセンター事業は現在そして将来にわたって地域になくしてはならない支援事業になっている。開始当初からこのシステム構築に貢献してきた実績と未来志向のビジョンを持って、更なる発展に貢献したいと考えている。

○当事業は、そもそも子育て中の女性たちが問題の当事者として提案し実施され、今に至っている。当事者である「気づき」「共感」が、これまで重要な事業の土台だった。

○実際、本事業の支え手である提供会員（地域住民）は自身の経験に基づき、支援を求める母親たちの苦労に共感の言葉を伝え、寄り添う支援の実績を重ねてきた。支援の結果として感謝の言葉を受けとめた支援者は自身の人生を肯定でき癒され、やりがいを感じながら地域貢献を重ねている。支援者を突き動かす「当事者性、そして主婦性」が当事業の原動力であるし支援の質を高めてきた。

○支援者・アドバイザーともに長い経験の蓄積の上にスキルを向上させてきた。受託団体も良い支援を下支えできるようにとマネジメントスキルを高めてきたと思う。会員さらには市内外関係者から「信頼できる支援」「組織」という評価を頂いており、今後も佐世保市の地域子育て支援の発展に貢献できると確信している。是非、当法人を活用していただきたい。

○一方でAIの進化や社会構造の変化、さらにはコロナ感染拡大に伴い、新たな変革が求められる今、これまでの経験と実績だけで今後の子育て支援事業に貢献できない。常に組織の改革を目指す。

○ほんわかイメージの事業ながら実際はデータとリスク管理が主要で重要な業務になった。家族や子どもと向き合う現場、そこで過去にはなかったリスクが発生する。その対応の中でリスクマネジメントの重要性を実感している。当事業が重要な事業であることを誰よりも知る者として、安心・安全・信頼できるシステムを今後につなげていくために貢献させていきたいと考えている。

○とはいえ、生物としてのヒトの子産み・子育ての営み・子どもの発達のプロセスは環境の影響は受けつつも一朝一夕で大きく変化するものではない。ヒトの育ちに必要不可欠な共同体の育みを保障する「温かな支援の仕組み」として当事業を実施したい。

## 【選考会の総評のポイント】



- 活動理念や施策の推進の考え方が高評価できる。
- 職員の年齢構成のバランスがよい
- ヒヤリングにおけるコミュニケーションスキルも信頼を高めた。

ファミサポ事業は子どもの預かり事業であると同時に、人がつながるコミュニティづくりに貢献する事業です。その点が審査のひとつのポイントでした。予算は限度額めいっぱい立てていたのでもし低価格が評価のポイントだったらちいさのなかまは選考から落ちていたと思います。コロナ後の市の財政は一層厳しさを増すことと思います。そのような中、評価し託していただいたことに感謝し、お仕事でお返ししたいと思います。

## ●これからのイベントや講座の予定●

イベント名	日時	会場	内容
ぼちぼちヨガ教室	1月18・25日 (月)	ボランティア センター別館	定期開催 参加費¥500 会員外¥800
おもちゃ図書館	1月19日(火) 10:00頃から	ファミサポ事務所	参加費無料

## ● 赤い羽根共同募金 テーマ別募金ご協力のお願い ●

今年も赤い羽根共同募金協力お願いの時期になりました。今回の寄付は下記の用途で活用いたします。ぜひご協力をお願いします。

(1) 家事サポート利用の時の補助

(2) 「訪問型両親学級」の実施

今年度はコロナ禍で里帰り出産ができない、または遠隔地の祖父母の協力が得られない方への支援への補助が10月からスタート。皆さんからのご寄付はその補助の対象外の方にお届けします。そして、コロナ禍、母親学級等、親になるための学びの場に参加しづらい状況が続く中、出産、退院後に不安ありの方に訪問、情報提供いたします。ちいきのなかまが提供できる情報は生活をベースに子育ての暮らしのごく基本的な事からお伝えしていきます。孤立化により追いつめられることのないよう、アフターフォローも行います。主旨をご理解いただき、ご寄付へのご協力をお願いいたします。

### 編集後記

NHKで1/3放映された英雄たちの選択「古代人のこころを発掘せよ」を見て



縄文土器に生命力を感じ、土偶に癒されました。古代の人々は意識せずに「今を生きる」ことができた人々なのだと思います。子どもの頃に暮らした長野県のハケ岳周辺には今もたくさんの遺跡があり、接する機会がたくさんありました。なので、小学生の頃から古代史は遠い過去ではありませんでした。土偶の表情のほほえみしさ、姿の愛らしさは古代の人々の生命への想いが素直に表現されたものとして私たちの心にも響いてきます。土器の文様は植物の生命力の姿で力強さを感じます。命をいとおしいと思う心は私たちが古代に学ぶべきことのひとつだと思います。



### NPO法人ちいきのなかま

入会・会員(正・賛助)会員継続のご案内

正会員：総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費¥6,000

賛助会員：総会議決権なし 年会費¥3,000

主な特典：各種事業会員特別料金にてご優待

連絡先 NPO法人ちいきのなかま



〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19

携帯 090-9498-3608

E-mail: [chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp](mailto:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp)

HP: <http://chiikinonakama.boon.jp/>